2023年11月発行
Vol.223

看護おかやま

会員数 17,486人（令和5年10月31日現在）
保健師 716人　助産師 432人
看護師 15,796人　准看護師 542人

プレゼントチャンス!! P.12
Quoブックカード 1,000円×20名様

真庭市南部の風景（久世、落合、北房）

「花の山寺」普門寺

「新型コロナウイルス感染症との闘いを振り返って」…… P.2～4
No.1職場の自慢 No.12
「高梁中央病院」…… P.6
教えて!かんご君・ナースちゃん10
「医療・看護安全対策委員会」…… P.8
保健師(Public Health Nurse)のお仕事 Part3
「産業保健師」…… P.9

旧遷喬尋常小学校

姫新線と彼岸花

普門寺

編集・発行／公益社団法人　岡山県看護協会
〒700-0805 岡山市北区兵団4-31　電話 086-226-3638
ホームページ http://www.nurse.okayama.okayama.jp/
発行責任者／二宮 一枝

公式アカウント
@347lnwca

新型コロナウイルス感染症との闘いを振り返って

1. 重点医療機関としての対応

「看護職の力に誇りを持てた新型コロナウイルス感染症との闘い」

岡山市立市民病院　看護部長　近藤 温子

2020年1月、国内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認され、3月に県内で1例目の陽性患者が発生し当院で受け入れました。市立病院であり、第2種感染症指定医療機関である当院は、病院の使命として早期から新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるための体制づくりを始めました。

役割を明確にするために「現場対応検討チーム」を設置し、職員の命を守り、医療を継続できるよう、全職員で対応する体制をつくりました。その結果、職員は急な部署異動で不慣れな中でも懸命に看護を提供してくれました。また、感染管理認定看護師を中心としたICT（感染対策チーム）のメンバーが迅速で的確な対応をしてくれたことで、院内の感染者を最小限に抑えることが出来ました。

さらに、職員が少しでも安心して業務が行えるよう、建物の改築や物資の調達を行い、メンタルサポートチームの設置や特別手当など、支援制度を創設しました。厳しい行動制限を強いられ、自身が感染する不安、家族に感染させる不安、業務過多による疲労の蓄積などで疲弊していく毎日でした。偏見や差別により心を痛めることもある中、多くの市民や企業から寄付や物資の提供、励ましの手紙などの支援をいただきました。また、増加した重症患者に対応するため岡山県が看護師出向制度を創設し、複数の病院の看護師に長期間出向していただきました。このようなご支援や励ましにより、職員は心強く思い、頑張ることができました。派遣していただいた病院には心から感謝いたします。

この3年以上に及ぶ闘いで、地域の方々が医療を必要とするとき、看護職の力がないとその要望に応えられないということが証明されました。そして、私たちは改めて看護の原点に立ち返り、患者さんやご家族に寄り添う重要性を再認識しました。今後も少子高齢化が進む中、未知の感染症や災害など様々な問題が出てくるでしょう。私たち看護職は、安心・安全な医療・看護を、必要な人にいつでも提供できるよう看護力を高め、他の医療・介護機関とともに、地域全体で協働していくことが重要だと考えます。

大学生の方からのメッセージボード

県内大学のボランティアサークルより、新型コロナウイルス対応の医療従事者に感謝の気持ちを伝えたいとのことで、メッセージボードをご寄贈いただきました。「ありがとう」を直接届けてこそ意味があるということで、病院に直接ご持参いただきました。

中学生の方からのお手紙と刺繍

新型コロナ感染症に対応する医療従事者への感謝と願いを込めて、県内の中学校から「コロポックル」の刺繍作品を寄贈していただきました。「みなさまにも幸せが訪れるように」と願って送ってくださいました。刺繍にある「コロポックル」は、アイヌ民族に伝わる小人で、幸せを運ぶ救いの神様・願いの神様として祭られているそうです。

2. 感染管理認定看護師としての対応

「新型コロナウイルス感染症のパンデミック院内の対策準備と地域の活動を経験して感じたこと」

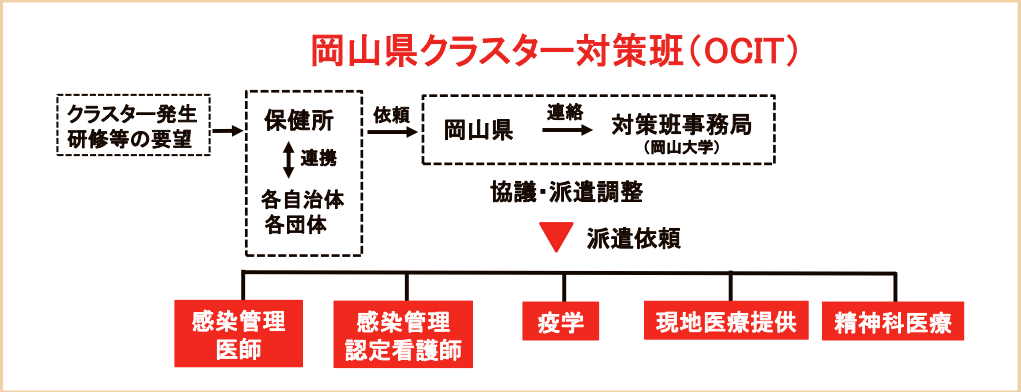
津山第一病院　感染管理認定看護師　井上 富弥江

2020年1月に国内で最初の新型コロナウイルス感染症患者が確認されてから、瞬く間に全国に感染が拡がりました。当時私は感染管理認定看護師の資格を取得して2年が経過していましたが、胸を張って「認定看護師です」と言えるほどの経験はありません。連日のコロナ報道に戦々恐々としながら対策の準備に取りかかりました。厚労省や各種学会などのホームページにアクセスし、情報を集めました。職員からの疑問や不安に対しても、資料を渉猟し、自分が誤った解釈をしていないか何度も確認してから対応するよう心掛けました。しかし、職員の中にはコロナと聞くだけで、まともに対話できなくなる人もいました。説明のつかない怒りや悲しみ、不安で混沌としていたように思います。

そうした中、私は病院の外に出て、地域で活動する機会を与えられました。岡山県クラスター対策班（OCIT）の活動です。OCITは、疫学の専門家や医師、認定看護師などが集い、クラスターが発生した医療機関や施設に支援に入ります。私が訪問した施設の多くは、既に何らかの感染対策が実施されていました。しかし、エビデンスのない対策に注力し職員の方々の負担となっていたり、誤った方法でかえって感染のリスクを高めていたりする場面が散見されました。メディアの影響がうかがえる対策も多くありました。

流行初期に報道された医療現場の映像は我々に強い印象を与えました。しかし、そこで行われていた感染対策が必ずしも正しいとは限りません。また、映像として切り取られた一瞬が感染対策のすべてでもありません。基本を知らずに視覚から得た情報だけで感染対策を模倣することは危険です。さらにこの3年間で、ウイルスの特性が解明されるにつれ、重点を置くべき感染対策も変遷してきました。情報は更新されていくのです。過剰にコロナを嫌悪する人も含め、適切な最新の情報にアクセスできていないか、情報を信頼しきれず独自の判断が加わったのではないでしょうか。いずれにしても急激な感染拡大で十分な時間を確保できず、各々で調べ、バイアスをかけずに情報を読み解くには限界があると感じました。私自身もOCITでの活動がなければ、間違った方向に進んでいたかもしれません。

『百聞は一見に如かず』です。私たちは専門職として情報リテラシーを高めるとともに、頭でっかちにならないよう、足を使って情報を集めることが大切なのではないかと思います。看護協会や保健所を活用すればいいのです。ためらわず、勇気を出して一歩外に出てみましょう。そして、地域全体で感染対策のレベルを上げて行きましょう。



3. 行政としての対応

「保健所での新型コロナウイルス感染症対応を振り返って」

岡山県備中保健所　保健課　唐井 幸子

2020年3月、県内初の新型コロナウイルス感染者が確認された頃、私は県医療推進課で看護職員確保対策に従事していました。その際県看護協会の皆様には、早い段階から宿泊施設の立ち上げ、クラスター施設等への看護師の派遣など御対応頂き大変お世話になりました。

2021年4月、第4波の立ち上がりの頃、保健所長が兼務でほぼ不在の備中保健所へ異動しました。その後第5波、第6波と感染者数も増え、疫学調査、検査、入院や宿泊療養のための患者移送、健康観察、クラスター対応等に職員一丸となって日々邁進しました。

重症化予防薬が承認される前までは、深夜に体調不良を訴える電話へ対応した時や、認知症高齢者の入院調整が翌日になった際など、不安で眠れないこともありました。

オミクロン株が主流となった第7波以降、一日250件以上の発生届を受理するようになり保健所業務はさらに逼迫し、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方、妊婦等に対し重点的に対応する方針となりました。疫学調査や健康観察など、それまで丁寧に行っていたことの見直しや発生届の限定等、度重なる対応の変更について戸惑うこともありましたが「命を守る」ことを最優先に取り組みました。

特に高齢者施設等に対しては、施設内で1例目が把握された早い段階から積極的に聞き取り調査を行い、標準予防策の徹底、ゾーニングやPPEの着脱支援等の現地支援、フォローアップを2022年度には延べ54施設で行いました。

また、業務の見える化を意識し、その都度対応フローやマニュアル、役割分担などを共有することにより特定の職員に負担が掛かることなく、皆が同じ方向で対応できるよう工夫しました。こうして課内保健師だけでなく部内・局内等多くの応援によりなんとか乗り切ることができました。

さらに、地域の医療機関の先生方との定期的なWEB会議等を重ねることにより、入院や往診・オンライン診療等の体制が充実したこと、市町による買い物等の独自支援が進められたことは、大変ありがたく、また心強かったです。

新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、これまでの対応について所内で課題や問題点の振り返りを行っています。これを次の感染症への対応に活かしていくことが今回のコロナ対応を経験した私たちの大きな役割と考えています。

●電話での疫学調査

●濃厚接触者の特定　療養区分の決定

●施設での検体採取

●施設支援

中学生・高校生のための「看護進路ガイダンス」を開催しました。

ナースセンター長　森岡 薫

7月23日（日）に岡山コンベンションセンター、7月30日（日）にアルネ津山で「看護進路ガイダンス」を開催しました。両会場で161人の参加がありました。初めに、岡山県医療推進課の田頭総括参事と岡山県看護協会の二宮会長から、「一人でも多くの看護職をめざす学生が増えるように、看護の魅力を伝えていきましょう」と挨拶がありました。

看護職と看護学生による体験発表会では、みなさん真剣なまなざしで話を聞き、発表後の個別相談には多くの学生が集まっていました。

看護体験では実際にAEDの使い方、赤ちゃんのお世話や妊婦体験、高齢者の疑似体験、血圧計・聴診器の使い方、手洗いの仕方、酸素飽和度測定をとおして、看護の仕事の一部を体験していただきました。中でも、血圧測定には親子で並ぶなどの長い列ができる盛況ぶりでした。体験した学生からは、「色々な体験ができて楽しかった。」「妊婦さんや高齢者の気持ちが分かった。もっと優しくしたい。」等の声がありました。

また進路相談では、母娘で相談に来られる方が目立ちました。経験豊富な看護職が、ひとつ一つの質問に丁寧に対応する中、保護者の方からは、「子供と一緒に進路を考えるのに、とても役立ちました。」と言われました。

看護学校の資料コーナーでは、両手に多くの学校資料を手にする学生の姿がありました。そこでは、看護科のある5年制一貫校か、普通科の高校に進むべきか進路に迷う中学生や、看護学科のある大学に進みたいが勉強に自信がないと不安気な高校生の言葉があり、それぞれの思いに対応していました。

アンケート結果では、看護の道を進むことを考えている回答が約80％あり、「将来の夢について、現実的に考えることができた。」という力強い感想がありました。

短い時間でしたが、参加者に看護職の思いが十分に伝えられ、会場は最後まで人が途切れず活気あるイベントになりました。

●発表者のみなさん

●AED体験

●脈拍測定

●高齢者疑似体験

●赤ちゃんのお世話体験

●手洗いチェック

●妊婦体験

No.1 うち職場の自慢

施設の概要

- ＊病床数：160床（介護医療院：32床）
- ＊障害者施設等一般病棟、急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟
- ＊地域災害医療センター
- ＊地域がん診療病院

No.12

高梁中央病院

高梁・新見医療圏唯一の災害拠点病院

屋上にはヘリポートがあり、ドクターヘリの要請に対応。
災害時の派遣要請に備えたDMATチームの体制整備。

① 地域密着!医療でたかはしを支える

- ＊地域の病院として、患者さんに選んでいただける病院を目指しています。
- ＊高梁市での療養完結を目指し、救急の受け入れや手術などを積極的に行っています。
- ＊訪問看護ステーションが院内にあり、退院後も安心!
- ＊院内や地域との多職種連携を密に行い、チーム医療で一人ひとりの患者さんにより添った支援を目指しています。

② 看護教育の充実

- ＊当院はプリセプターシップ制度を導入しています。新人教育プログラムに沿い、プリセプターだけではなくチーム全体で指導を行い、成長できるようにサポートしています。
- ＊eラーニングの導入や集合研修、院外研修へも積極的に参加しており、個々のスキルアップを応援しています。

③ 働きやすい職場

- ＊院内保育所の完備や時短正職員制度もあり、安心して育児と仕事の両立がはかれます。育休も1年間きちんと取得でき、男性の育休制度や子の看護休暇など子育て世代を支援しています。

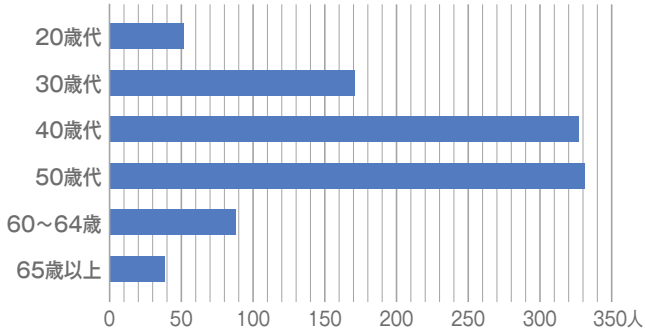
- ＊看護新入職員の採用にも注力しており、奨学金制度も整備されています。

訪問看護総合支援センターにおける新卒・新任訪問看護師育成事業

2年間で「一人前」をめざして、新卒・新任訪問看護師がチャレンジ

センター長　江田 純子

訪問看護職員の年齢分布（2020年度看護職員従事者届による）



2025年、更には2040年を見据えて、あらゆる健康段階の一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく「生ききる」ために地域包括ケアを推進していくことが重要となっています。

その中で、訪問看護総合支援センターでは、地域包括ケアで中心的役割を担う訪問看護師の確保・定着、質の向上など、岡山県や関係機関と連携しながら取り組んでいます。

2020年看護職員従事者届では、訪問看護事業所で従事する看護職は、39歳以下が223人（22.1％）、40～50歳代が658人（65.3％）、60歳以上が127人（12.6％）でした。若い人材を確保し世代交代を緩やかに進めることにより訪問看護事業を継続することが喫緊の課題となっています。

新卒・新任訪問看護師育成事業は、2015年に新卒訪問看護師育成プログラムを作成し、2016年度から1～3人ずつの育成を継続してきました。これまで、17人の新卒・新任看護師、13事業所が2年間のプログラムに参加し、訪問看護に必要な知識・技術を習得し、2年後には在宅療養者に対して個別的な看護や医療ケア、緊急時対応、在宅看取りなどが提供できるように成長しています。

是非、新卒・新任訪問看護師の可能性を信じ、一人前の訪問看護師として地域で活躍する姿を見守っていただければ幸いです。

新卒訪問看護師育成事業に参加して

訪問看護ステーションママック城東　小田 千晶

新卒から訪問看護師になって今年で3年目となりました。

私は初めから訪問看護師になりたかったわけではなく、看護学校での学習や実習に行くうちに興味を持ちました。そして、岡山県看護協会が「新卒訪問看護師育成事業」をしていると知り、自分も飛び込んでみようと決意しました。

この事業に参加できたことで、訪問看護師に必要な知識を得るだけでなく、様々な研修で最新の知識や技術に触れることができました。また、病院実習では、訪問看護師の視点に立って病院の役割りを見ることができ、大きな学びになりました。半年に一度の評価では、自分の成長を振り返り、課題を明らかにすることができました。そして、何よりも力になったことは、「同期」と呼べるような存在が持てたことでした。悩みを共有することで、お互いに励ましあいながら壁を乗り越えることができたと実感しています。

訪問看護師育成事業の2年間のプログラムは終了しましたが、先輩方からまだまだたくさんのことを勉強中です。これからも常に自分の訪問を振り返り成長を続けていきたいと思います。

津山中央訪問看護ステーション　伊藤 砂也香

私は、令和3年の春に看護師免許を取得し、以前から希望していた津山中央訪問看護ステーションに入職となり、同時に看護協会の新卒訪問看護師育成プログラムに参加しました。プログラムでは、月に2回の学習支援があり、訪問中うまくいかなかった手技や疑問に感じたこと等を参加メンバーと意見交換しながら振り返り、悩みや不安を解消しながら学びを深めていくことができました。また、実技演習では、数多くの医療材料に触れ、実際の訪問の場をイメージして行うことで、少しずつ自分の看護に自信を持つことができるようになりました。訪問看護は配属される新人看護師が少なく、同期と関わる機会がほとんどないため、自分自身が看護師として成長できているのか戸惑うこともありました。しかし、学習支援で同期と共に悩みや看護の喜びを分かち合うことで、新たな気づきや自分自身の成長を感じることができました。そして、現在3年目ですが、今日も先輩方と一緒に頑張っています。

このコーナーでは、私たちが看護協会について徹底調査！色んな「そうだったのか！」を紹介します。

教えて！かんご君・ナースちゃん!!

調査報告：10 「医療安全管理の質の向上を支援します」～医療・看護安全対策委員会～

副委員長　丸山 雅道

岡山県看護協会　医療・看護安全対策委員会は、岡山県内の医療機関における医療・看護安全管理の質の向上を目指し、委員8名で以下のような取り組みを行っています。

教育プログラムの充実：医療・看護安全管理の質を向上するために、医療安全管理者養成研修・KYT研修・准看護師対象研修会（医療安全及び交流会）において、企画・運営、委員による講義を行っています。医療安全管理者養成研修では、事例検討を通じて自身が勤める病院組織を医療安全管理の視点で観察し、組織内で効果的な対策を立案することと、安全文化の醸成に向けて組織の今後の課題を認識する機会となっています。KYT研修等では、看護職が患者の安全を最優先した医療・看護が提供できるように、危険予知・経験知共有・コミュニケーションの重要性を知る演習を行っています。

医療機関の連携強化：県看護協会に加盟している医療機関のうち当委員会の「岡山県リスクマネジャーネットワーク」に参加を希望する機関が担当看護職（医療安全管理者）として登録されています。医療安全に関わる情報共有や事故事例の対応や対策、マニュアル改訂に関する問い合わせ等を積極的に行い、医療安全管理の標準化および質の向上に寄与しています。また、このネットワークにより、医療機関を跨いだ過誤事例対応でスムーズな医療機関連携ができています。

これらの取り組みにより、岡山県の医療機関における医療安全管理の質の向上に寄与してきました。引き続き委員会委員一丸となり、より良い医療・看護環境の向上を目指していきます。

災害支援ナースが変わります！

災害支援ナースの仕組みの主な変更点（令和5年6月時点）

	現行	新
法令等の根拠	—	改正医療法・改正感染症法（令和6年4月施行予定）
派遣の対象	自然災害	自然災害・新興感染症
養成・登録	養成：都道府県看護協会・日本看護協会 登録：都道府県看護協会	国
派遣形態	個人により異なる ・休暇を取得 ・業務（出張）扱い等	原則として派遣元の医療機関の職員※として看護業務に従事する（業務扱い）
派遣要請	各県共通の派遣要請ルートはなし	都道府県の派遣要請に基づく （県内調整で対応できない場合は国が全国応援派遣調整を実施）
経費	近隣支援・広域支援の場合は、交通費・宿泊費の実費及び日当を日本看護協会が負担（それ以外は都道府県看護協会の負担）	公的に負担 （協定に基づく災害・感染症　医療業務従事者または医療隊の派遣に要する費用は、都道府県が支弁する）

※日本看護協会作成「災害支援ナースの仕組みが変わります」リーフレットより抜粋

保健師（Public Health Nurse）のお仕事

Part3 労働者を支援する産業保健師

JFEスチール株式会社西日本製鉄所（倉敷地区）
安全健康室ヘルスサポートセンター　**大嶋 留美**

産業保健師は、主に健診機関や企業、健康保険組合等の事業所に所属して働いています。中にはフリーランスで企業と契約している方もおられます。

産業保健師の業務内容というと健診をイメージする人が多いかもしれませんが、所属先によって大きく異なります。当事業所のような民間企業に所属している保健師でも、健診やその事後管理、健康相談や指導等の健康管理を中心に行う方、保険給付などの事務業務も担当している方、衛生管理者も兼ねている方、社内診療所での診療業務に携わる方、心理相談を中心に行う方、特定保健指導やストレスチェックの実施にも直接携わる方など様々です。共通しているのは、労働者の健康を様々な視点から支援するという事です。

当事業所で力を入れている取り組みの一つは禁煙指導です。新しい指導方法を開発することで、禁煙する気が無い喫煙者でも禁煙が可能になりました。当事業所の禁煙セミナーは開催の度に募集定員を超えるほどの人気セミナーです。プログラムの開発から2年で、当事業所の喫煙率は大幅に低下しました。

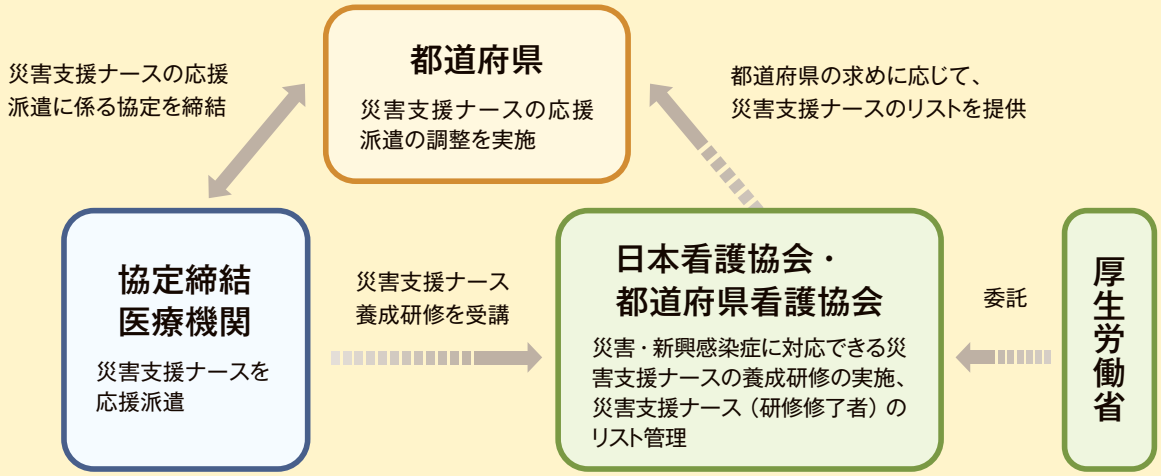
このように企業では、保健指導を希望していない方に対しても、健康上の課題解決の為に積極的に関ります。そして、産業医や安全衛生スタッフ、人事部門、所属管理者等と連携して労働者の健康管理に取り組んでおります。

禁煙セミナーの様子

禁煙セミナーの様子

職場管理者への禁煙セミナー説明場面

災害・新興感染症に対応できる災害支援ナースの養成



※ 参考：厚生労働省令和5年度第2回医療政策研修会（令和5年9月15日）資料2

看護協会からのお知らせ

2024年度 入会(継続)手続きのご案内

2024年度「継続のお知らせ」が10月下旬から順次発送されています。
必ず開封し、登録内容の確認をお願いします。

2024年度会費について

※2024年4月1日時点での年齢

	65歳まで	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上
岡山県看護協会	**7,000円**	**5,000円**	**4,000円**	**3,000円**
日本看護協会	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円
合　計	12,000円	10,000円	9,000円	8,000円

・口座振替の方：**令和6年2月27日(火)** 引落予定です。
　2024年度会費より初回の口座振替日が変更になります！
・銀行・コンビニ振込の方：払込用紙でお支払いください。
・施設とりまとめの方：施設Webで金額を確認し、施設専用口座へお振り込みください。
・**初めて入会する方、2005年度以降加入歴がない方は、入会金を一緒にお振込みください。**

入会金　20,000円 + 年会費

●継続手続きについて

会員情報や口座情報に変更（不備）がある場合

会員情報変更届にご記入の上、
下記私書箱宛へお送りください。

〒206-8790
日本郵便株式会社　多摩郵便局私書箱21号
公益社団法人日本看護協会・都道府県看護協会　会員登録事務局　宛

※ 会員専用ページ　会員専用ページ キャリナース　からも変更できます！

「キャリナース」から変更申請された場合、郵送での提出は**不要**です。

❖印字内容は9月13日時点の情報です。すでに変更のご連絡をいただいている場合は、再度届出の必要はありません。

会員情報や口座情報に変更（不備）がない場合

手続きは不要です
（自動継続となります）

継続しない場合（退会する場合）

2月10日までに岡山県看護協会へ「退会届」をご提出ください。
※ 退会にはお届けが必要です。
※ 退職＝退会ではありませんのでご注意ください。
※「退会届」のご提出は、必ず 岡山県看護協会 宛にお願いします。

【お問い合わせ】　岡山県看護協会 会員担当　☎086-226-3638

自分へ贈る 最高のご褒美

積善病院　安藤 秀樹

仕事に追われる中、私の唯一のご褒美は、子どもたちと一緒に過ごすことです。休日の晴れた日に、自転車で近場にサイクリングに出かけたり、温水プールで泳いで遊んだり、買い物に行ったりしています。

その中で、コロナ感染症5類への移行により、今年の夏は念願の東京ディズニーランドへ家族で旅行し、いろいろなアトラクションに挑戦して子どもたちとの時間を堪能したことが、最高のご褒美となりました。子どもたちと来年も行く約束をし、今から楽しみにしています。

次は、津山中央病院　西川 秀香さんです。

キャリアアップしたい看護師・准看護師の方へ

学士(看護学)の学位を取りたい

・放送大学で単位を修得し、学位授与機構に申請をすることができます。

看護師国家試験を受験したい

・放送大学で単位を修得して、養成所の単位として活用することができます。

心理学の資格を取りたい

・認定心理士、臨床心理士の資格取得を目指せます。

4月入学生募集

＜第１回募集＞ 2023年11月26日(日)～2024年2月29日(木)
＜第２回募集＞ 2024年3月1日(金)～2024年3月12日(火)

●お問い合わせ先
放送大学 岡山学習センター
TEL　086-254-9240
〒700-0082
岡山市北区津島中3-1-1(岡山大学津島キャンパス内)

資料請求はこちら
放送大学ウェブサイト

不要な羽毛ふとんはありませんか？

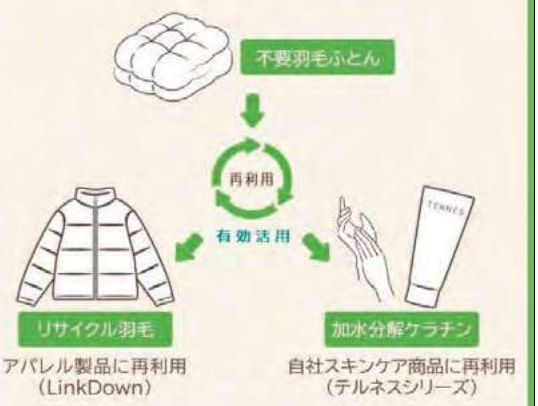
東洋羽毛が無料でお引取りします

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて、SDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいます。

引取り詳細▲

● お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
● 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
● ダウンジャケット等、リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外は引取りできません。
● 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。

TUK Link Project



TUK
東洋羽毛中四国販売株式会社　岡山営業所
〒700-0845 岡山県岡山市南区浜野4-3-37
フリーコール
～お問い合わせはお気軽に～
0120－224711
70th

理事会報告

◆ 令和5年7月15日(土)

審議事項

1. 令和5年度 岡山県への要望項目(案)について
2. 第2回三職能施設代表者・役員・委員長・支部長・個人会員合同会議(案)について
3. 令和5年度 健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)における各表彰候補者の推薦について
4. 追加審議：岡山県看護協会駐車場の安全確保について

◆ 令和5年9月16日(土)

審議事項

1. 令和5年度 補正予算について
2. 岡山県看護協会職員の職務専念義務の特例に関する規則の制定について
3. 令和5年度 岡山県への要望項目(案)について
4. 令和5年度公衆衛生事業功労に係る厚生労働大臣表彰　候補者の推薦について
5. 創立50周年記念式典及び令和6年度通常総会について
6. 令和6年度　教育・研修・学会計画　受講申込・参加要領について
7. 災害支援ナース養成研修進捗状況について

◆ 令和5年10月21日(土)

審議事項

1. 令和5年度 岡山県への要望事項(案)について
2. 令和6年度 重点事業方針(案)について
3. 令和6年度 岡山県看護協会 名誉会員 候補者について
4. 令和6年度 日本看護協会長表彰 候補者について
5. 理事会の開催日について

知って！答えて！ プレゼントチャンス!!

クイズとアンケート全ての項目に回答してくださった方から、抽選で20名様にプレゼント！

今回のプレゼントはこちら！

Quoブックカード 1,000円×20名様

◎ 今月号のクイズ

Q.「看護おかやま」には毎号、岡山県看護協会のLINE公式アカウントにつながるQRコードを掲載しています。何ページ目でしょうか。

① 1ページ目（表紙）　② 5ページ目　③ 10ページ目

応募方法

ホームページの専用フォーム（右記QRコード）からご応募ください。
はがき・封書でのご応募は、以下の全てをご記入の上、岡山県看護協会あてにお送りください。

① クイズの回答　② 11月号の感想、印象に残った記事
③ 岡山県看護協会会員番号　④ 氏名　⑤ 送付先住所、郵便番号
⑥ 日中連絡が取れる連絡先（電話、メール）　⑦ ニックネーム

QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

【応募締切】11月30日（木）当日消印有効

※ご記入いただいた住所、連絡先などの個人情報は、賞品の抽選・発送の目的以外では使用しません。
※当選者の発表、ご意見ご感想の一部はホームページにニックネームで掲載します。

編集後記

3年間の新型コロナウイルス感染症との闘いを振り返って、それぞれの立場から活動を伝えていただきました。5月からコロナは5類に移行となりましたが、感染症の脅威は続いています。今までの経験を活かしながら、継続して力を合わせて乗り越えていきましょう。

広報委員一同